



減災まなび舎

【第11回】
まなびや～

平成27年

6/3(水)

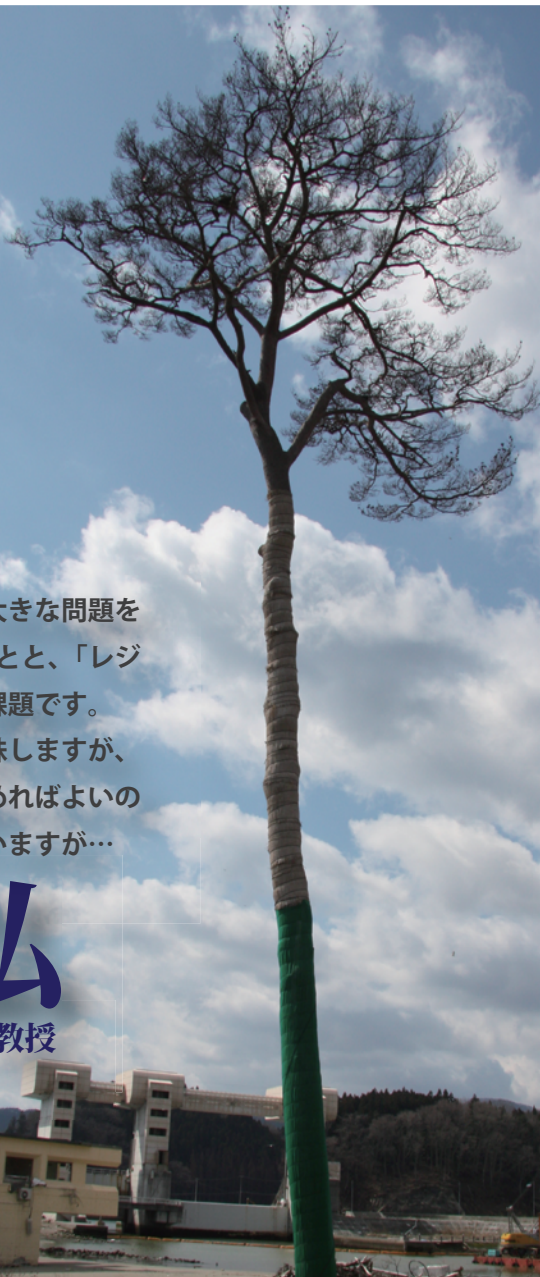
減災館 1F 減災ホール

13:00-14:00

※学内の学生・教職員、関係事業者、周辺住民が対象です。

災害の多い日本、東海地域で過ごすにあたり、ぜひ知っておきたい防災、減災の知識や心構え。「減災まなび舎」では、防災、減災について災害対策室・減災連携研究センターの教員がわかりやすくまとめて説明します。毎月1回、水曜午後1時から2時の1時間開催します。

大学にとってレジリエンスとは？



RESILIENCE
レジリエンス
災害に負けないしなやかな社会や組織に向けて

東日本大震災は日本社会のあり方そのものに大きな問題を投げかけました。「想定外」を繰り返さないことと、「レジリエンス」を高めること、この二つが大きな課題です。レジリエンスとは「しなやかな回復力」を意味しますが、ひとびとの「立ち直れる力」をいかにして高めればよいのでしょうか？政府は「国土強靱化」と訳していますが…

鈴木康弘

名古屋大学減災連携研究センター教授



写真:2011年3月11日東日本大震災「奇跡の一本松」(岩手県陸前高田市気仙町)

【減災まなび舎の年間開催予定】

- 7/15 (水) 「身を守るための火山の知識」 山岡耕春教授
- 10/21 (水) 「火災から身を守るには」 廣井 悠准教授
- 11/18 (水) 「室内で被災しないために」 講演者未定
- 12/16 (水) 「災害と学生ボランティア」 講演者未定

主催：名古屋大学災害対策室・減災連携研究センター

問い合わせ先：災害対策室 TEL:052-788-6040 FAX:052-788-6039 e-mail:dmo@seis.nagoya-u.ac.jp